



PRO CHEF

オロシ専用機

取扱説明書

オロシ専用機

型式/RG-20B



- このたびは、プロシェフ オロシ専用機をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用

も く じ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き	4
■注意ラベルの貼付位置	5
■設置と運転前の確認	6
■ご使用方法	7
●運転の手順	8
●プロテクターについて	9
●安全スイッチについて	9
■お手入れ	10
●毎日のお手入れ	11
●汚れが目立つときのお手入れ	11
■点検	12
●1年に1～2回の点検	12
●保管方法	12
■故障の見分け方と処置方法	13
■譲渡・廃棄	13
■仕様	14
保証書・アフターサービスについて	巻末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

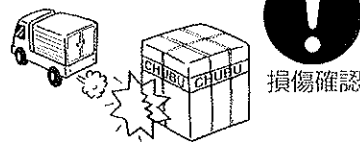
図記号の例

	感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「感電注意」を示します。
	分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。
	プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

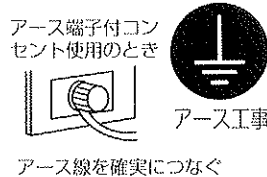
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認

アース工事を必ず行なうこと

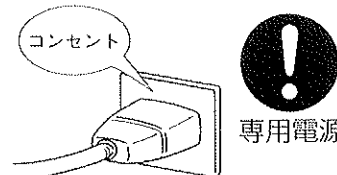
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）



アース工事

電源は専用コンセントを使用すること

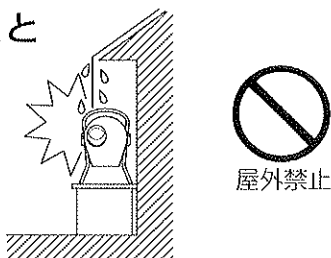
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因となります。



専用電源

屋外で使用しないこと

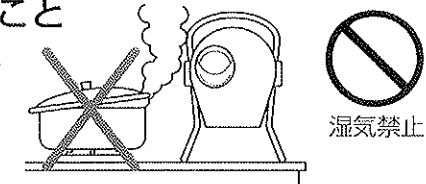
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因となります。



屋外禁止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

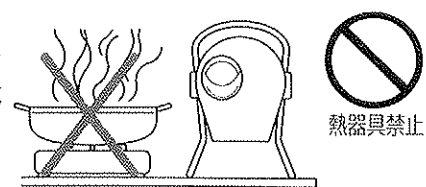
絶縁低下から漏電、感電の原因となります。



湿気禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

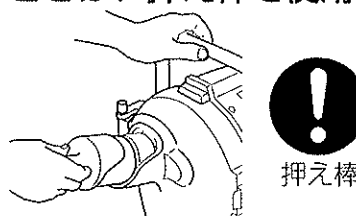


熱器具禁止

警告

食材を「オロス」ときは、押え棒を使用すること

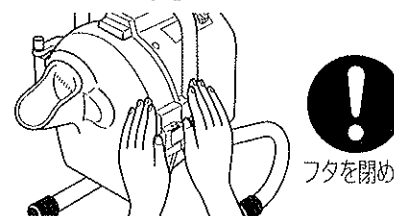
無理に手で押し込むと、手が一緒に入り込み、ケガの原因となります。



押え棒

運転時は、必ず上フタを閉めること

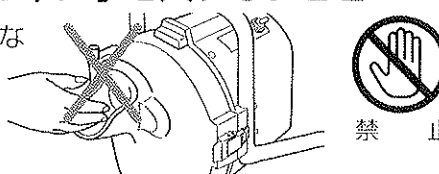
オロシ円盤で、手や指を切ることがあります。



フタを閉める

運転中に上フタを開けたり、投入口や、オロシ出口の中に手を入れないこと

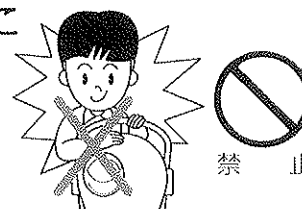
ケガの原因となります。



禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

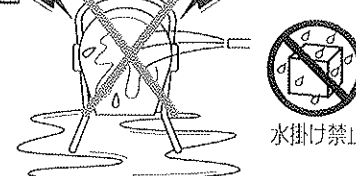
感電、ケガの原因となります。



禁止

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

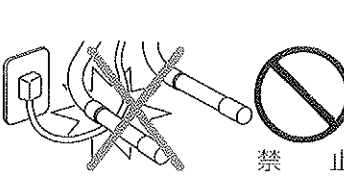
ショート、感電、錆び、故障の原因となります。



水掛け禁止

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

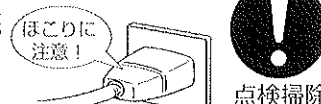
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因となります。



禁止

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。



点検掃除

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因となります。



濡手禁止

漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON（入）にすると、感電や火災の原因となります。



漏電連絡

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因となります。



プラグを抜く

オロシ円盤の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

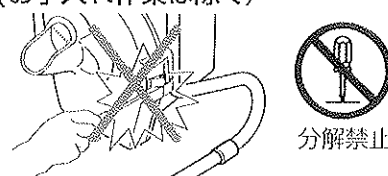
ケガの原因となります。



素手禁止

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）

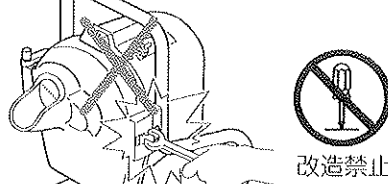
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因となります。



分解禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因となります。



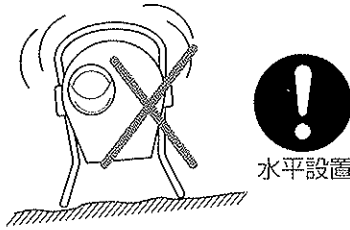
改造禁止

各部のなまえとその働き

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

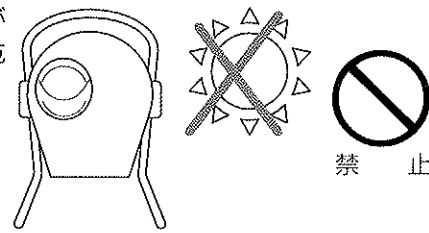
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当たるところで使用しないこと

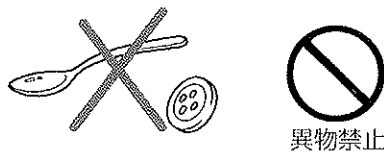
プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

投入口の中に食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと

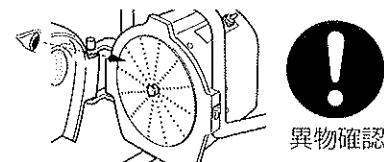
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)や刃物の破片が切削室の中にあることを確認すること

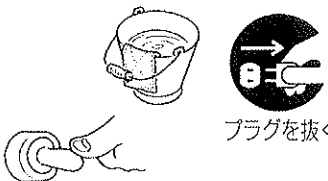
ケガの原因になることがあります。



異物確認

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

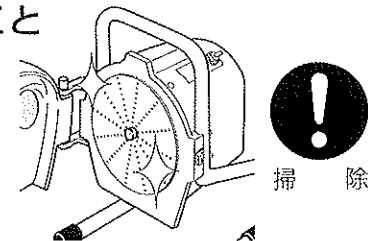
思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。また、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

投入口や切削室・オロシ円盤は使用前に必ず掃除をすること

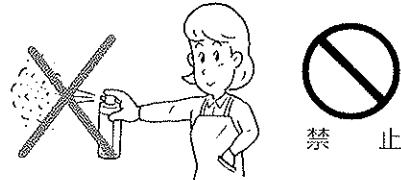
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になることがあります。



掃除

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

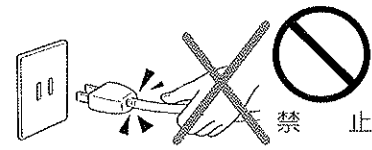
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

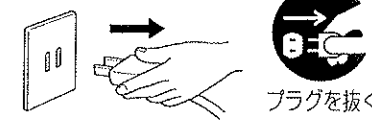
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

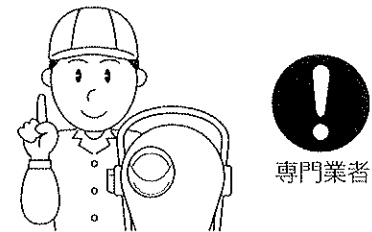
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

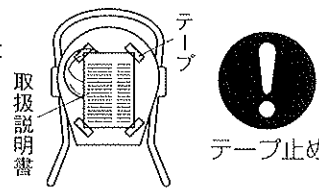
廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

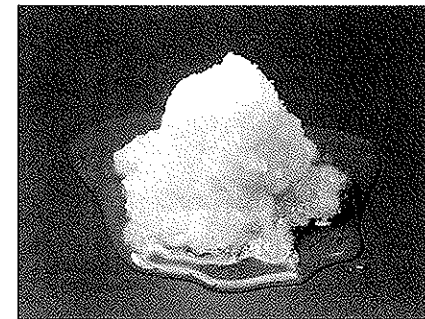
このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



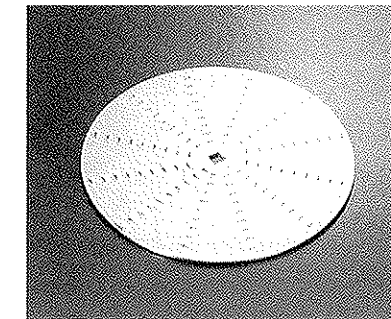
テープ止め

■使用目的

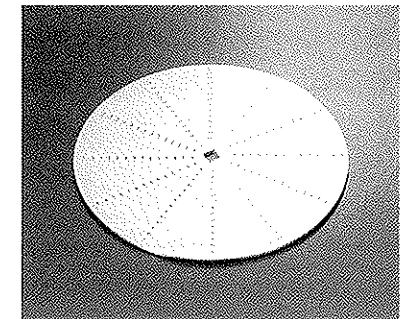
●大根やニンジン等の根菜類をおろす機械です。



大根おろし

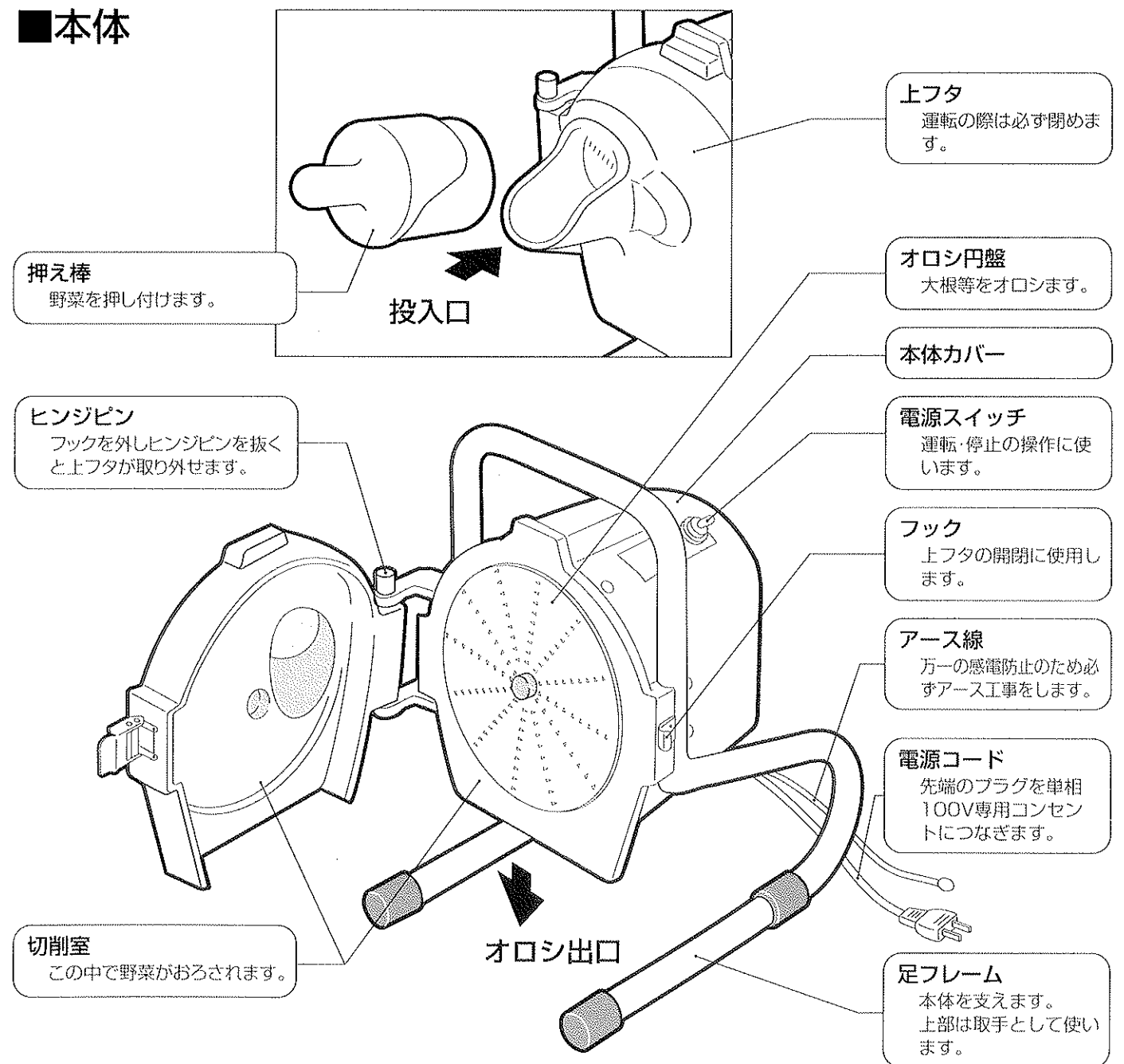


■オロシ円盤(表)粗



■オロシ円盤(裏)細

■本体



上フタ
運転の際は必ず閉めます。

オロシ円盤
大根等をオロシします。

本体カバー

電源スイッチ
運転・停止の操作に使用します。

フック
上フタの開閉に使用します。

アース線
万一の感電防止のため必ずアース工事をします。

電源コード
先端のプラグを単相100V専用コンセントにつなぎます。

足フレーム
本体を支えます。上部は取手として使います。

押え棒
野菜を押し付けます。

投入口

ヒンジピン
フックを外しヒンジピンを抜くと上フタが取り外せます。

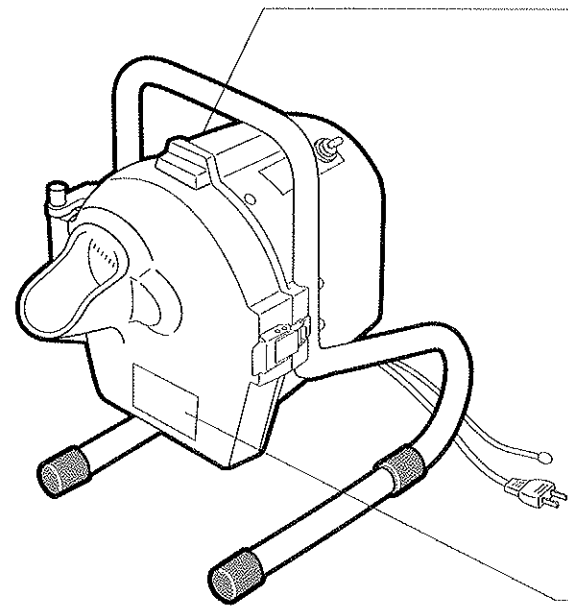
切削室
この中で野菜がおろされます。

オロシ出口

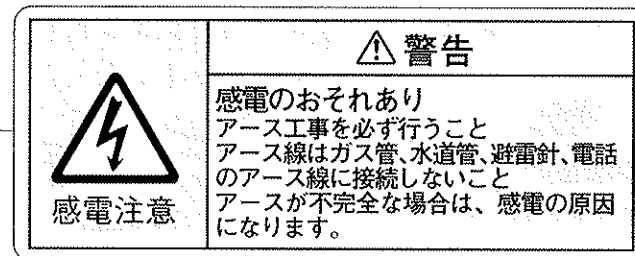
■注意ラベルの貼付位置

お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

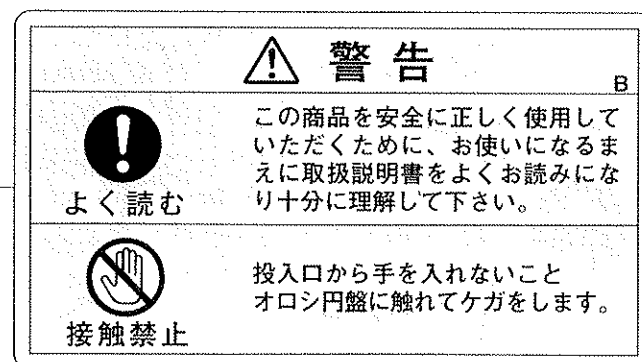


品名：PLラベル/カンデン 7Q2



(本体カバー側面に貼り付けてあります)

品名：PLラベル 705



(上フタ、オロシ出口近くに貼り付けてあります)

■設置

警告

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)



アース工事

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。



禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

■運転前の確認

- 電源は交流100Vに接続してください。
使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室内・オロシ円盤などに入っている恐れがありますので、掃除をしてください。
(P.11 毎日のお手入れ参照)

ご使用方法

警告

運転中に上フタを開けたり、投入口や、オロシ出口の中に手を入れないこと
ケガの原因になります。



禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること



プラグを抜く

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと



濡手禁止

感電の原因になります。

食材を「オロス」ときは、押さえ棒を使用すること



押え棒

無理に手で押し込むと、手が一緒に入り込み、ケガの原因になります。

オロシ円盤の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと



素手禁止

感電の原因になります。

注意

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと



禁止

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと



禁止

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

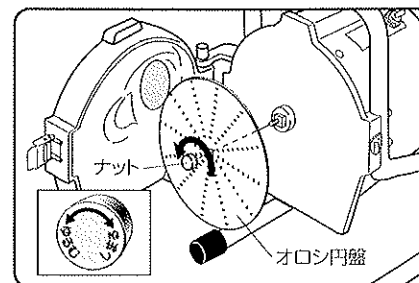
運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)や刃物の破片が切削室の中にあることを確認すること



異物確認

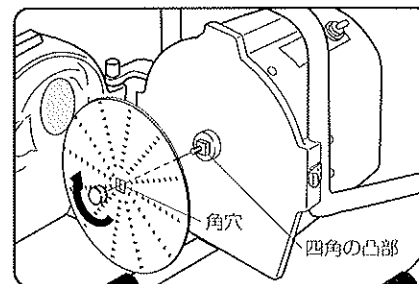
ケガの原因になることがあります。

■運転の手順



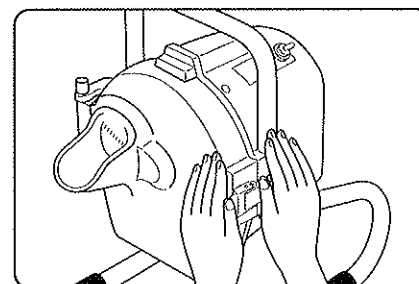
1 フタを開けて、オロシ円盤を取り外す。

- フックを外して上フタを開けてください。
 - オロシ円盤が回らないように手でつまみ、ナットを反時計方向に回してはずし、円盤を取り外してください。
- ※必ず手袋を着用してください。刃に触れるとケガをします。



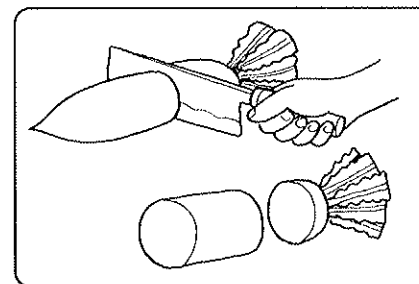
2 オロシ円盤を取り付ける。

- オロシ円盤は表と裏で粗さが違いますので、使用する粗さの面を手前にして、オロシ円盤の角穴を回転軸の四角の凸部に確実に嵌め込みます。
- ナットを時計方向に回してしっかりと締め付けてください。



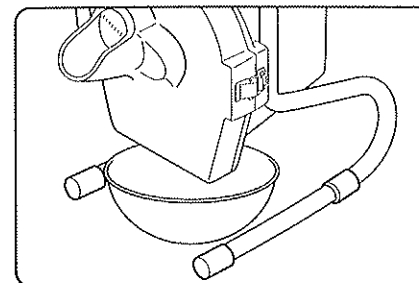
3 上フタを閉める。

- 上フタを閉め、フックをかけてください。上フタが確実に閉まっていないと安全スイッチが働き、製品は運転できません。



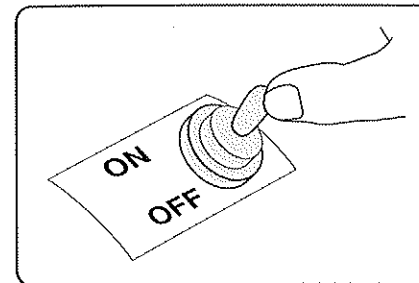
4 食材を用意する。

- オロシにする大根などをあらかじめ投入口に入る大きさに切っておいてください。



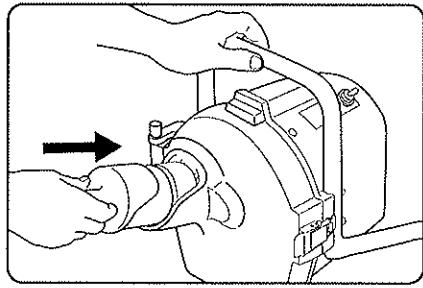
5 オロシを受ける容器を準備する。

- オロシ出口の下にボール等の容器を置いてください。



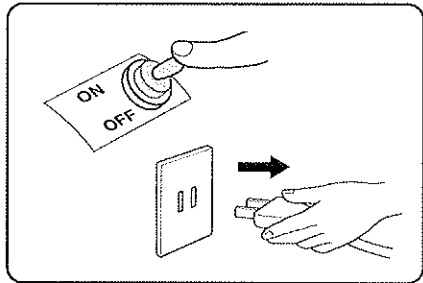
6 電源スイッチをON(入)にする。

- 運転が開始します。



7 食材を投入する。

- 用意した大根などを投入口より入れ、押え棒で軽く押し付けてください。手で押し込むことは絶対にしないでください。大根などと一緒に手が入り込み、ケガの原因になります。

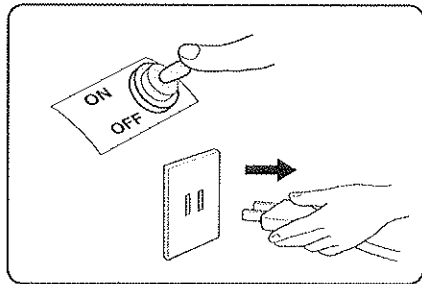


8 電源スイッチをOFF (切) にする。

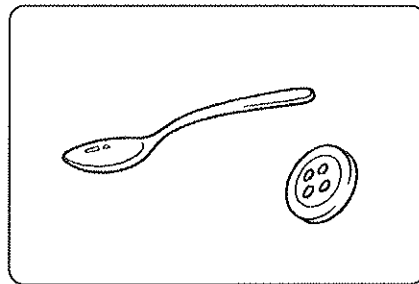
- 運転が停止します。
- 一日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF (切) にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■プロテクターについて

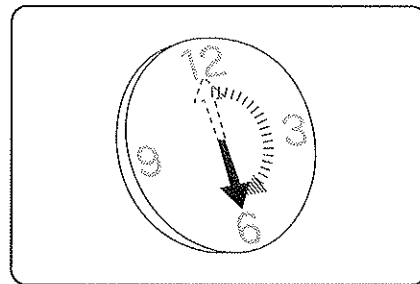
- 本製品は、定格時間が「20分」です。それ以上連続使用すると、プロテクターが作動して、自動的に製品が停止します。また負荷がかかり過ぎたときにも同様、製品が停止します。
- プロテクターはモーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



1 電源スイッチをOFF (切) にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



2 過負荷の原因を取り除いてください。食材・異物 (スプーン・つま楊枝・ボタンなど) を取り除いてください。また、円盤に損傷がないか確認してください。



3 30分放置してください。モーターの温度が下がり自動的に復帰いたします。
※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

- 運転中に上フタを開けると危険防止の為、安全スイッチが動き、製品が停止します。
- 安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

⚠ 警告

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

オロシ円盤の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF (切) にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



素手禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

⚠ 注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF (切) にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。また、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

投入口や切削室・オロシ円盤は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になることがあります。



掃除

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



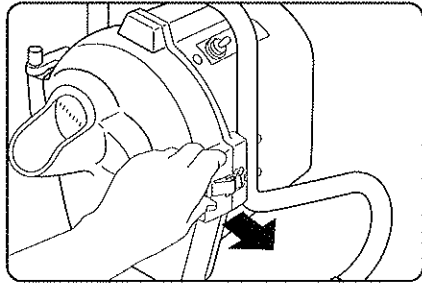
禁止

お願い

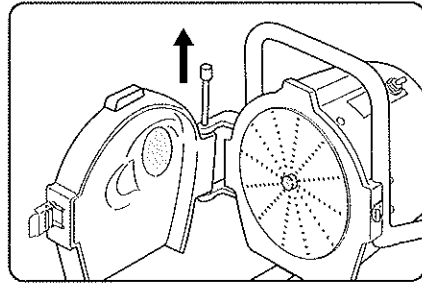
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- プラスチック面をいためますので、つぎのようなものは使わないでください。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

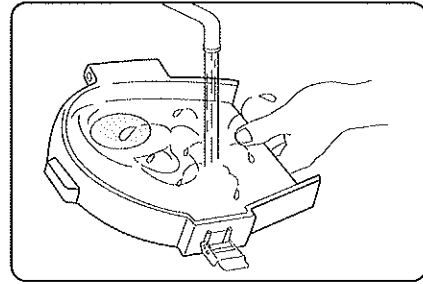
●ご使用後は必ずお手入れをしてください。野菜が腐り衛生的に非常に悪くなります。



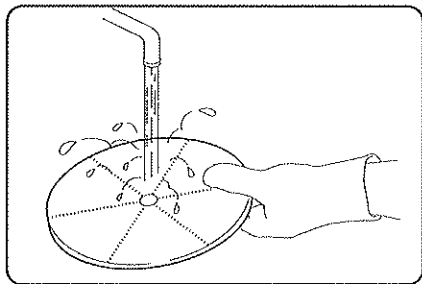
1 上フタを開ける
フックを外して上フタを開けてください。



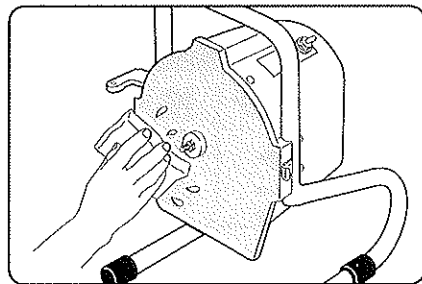
2 上フタを外す
上フタと切削室との取り付け部のピンを上へ引き抜くと上フタが外れます。



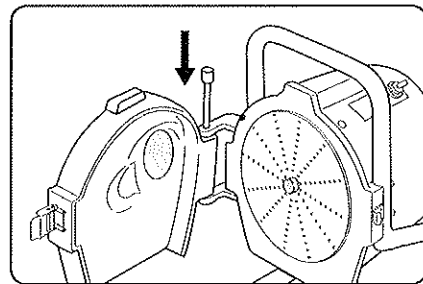
3 上フタの洗浄
上フタを水洗いして、乾いた布で水気を拭き取り乾燥させてください。



4 オロシ円盤の洗浄
運転の手順(P.8)の要領でオロシ円盤を取り外し、水洗いして、乾いた布で水気を拭き取りよく乾燥させてください。

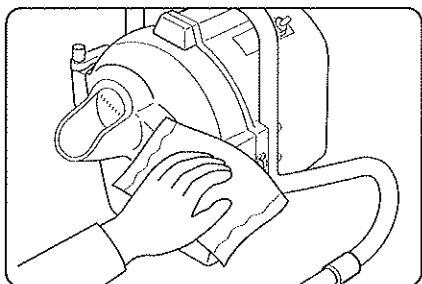


5 切削室の掃除
切削室(上図網かけ部)の汚れはスポンジに含ませた水で洗い流してください。その後乾いた布で水気を拭き取って乾燥させてください。



6 組立をする
オロシ円盤を回転軸に取り付け、上フタと切削室にピンを通しフックを掛けて固定してください。

■汚れが目立つときのお手入れ(本体外面)



- 軟らかい布にぬるま湯を含ませて拭いてください。
- 落ち難い汚れはぬるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水ぶきしてください。

■1年に1~2回の点検

警告

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

アース線の点検

- アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？
異常がある場合は、電気工事店に修理依頼してください。

電源コード・プラグの点検

- 専用コンセントを使用されていますか？
他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。
- 電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？
ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。
- 電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？
異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

お願い

●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。
販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●上フタが開いていませんか？	●上フタを確実に閉めてください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照。(P.9 参照)
異常音がする	●オロシ円盤が上フタに当たっていませんか？	●オロシ円盤を確実にセットしてください。(P.8 参照)
食材の切れ味が悪い	●円盤が摩耗していませんか？	●オロシ円盤を交換してください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止め



テープ止め

■廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

仕様

品名	オロシ専用機
型式	RG-20B
電源	単相100V 50/60Hz
消費電力	300/360W
定格時間	20分
質量	12kg
外形寸法	幅265×奥行365×高さ405mm
能力	大根50Hz 1.2kg 60Hz 1.5kg (参考値)